



人口の動き 12月1日現在 人口68,769人(前月比+134人) 男35,173人女33,596人世帯数32,118世帯



4月オープン予定の八街市児童館  
(完成予定図)



印旛都市首長会が新型コロナウイルス感染症の  
拡大防止に向けた緊急要望書を千葉県へ提出



たくさんの方からマスクや消毒液などのご寄付を  
いただきました。ありがとうございました。

「笑顔あふれるドリリームシティ  
やちまたの創世」を目指して

新年おめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。昨年、新型コロナウイルス感染症の大流行により、市民生活や経済活動に大きな影響が及ぶとともに、市民の皆さまには多くのご不便をおかけしました。緊急事態宣言に伴う外出自粛などの対策により、一旦、落ち着いたかにみえた新型コロナウイルス感染症でございですが、再び全国各地で感染が拡大し、今も予断を許さない状況でございます。

今回、改めて私たちが社会生活を営むなかで、当たり前だと思っていた日常がいかに大切なものか、あり、また、もろいものなのかということを認識する機会となりました。そして、普段はあまり意識をしていなくても、一人ひとりが社会の構成員であり、その行動には責任が伴うことを教えられました。外出自粛や感染防止対策の要請に対し、市民の皆さまは協力すること、その責任に添えてくださりましたこと、ここに改めて、お礼と感謝を申し上げます。

しかし、新型コロナウイルスとの戦いはこれで終わりではありません。市民の皆さまにおかれま

では、これからも3密の回避や人と人の距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生をはじめとした「新しい生活様式」を定着させるため、引き続きのご協力をお願いいたします。

現在、八街市では人口減少・少子高齢化、財政状況の悪化など、さまざまな課題に直面した中で、市政運営でございますが、「八街市総合計画2015」をもとに、八街市の魅力発信と地域の活性化のために取り組んでいるところでございます。

今後も限られた財源の中、また

コロナ後の「新たな日常」の中で、市政運営ではございますが、当たり前前のことを当たり前にするこの幸せと感謝の気持ちを忘れることなく、引き続き、市民の皆さまが安心して暮らせる街、住んで良かったと思える街、故郷として愛着の持てるまちづくりに取り組んでまいります。

本年が市民の皆さまにとりまして、夢と希望に満ちた一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

八街市長 北村 新司

